

仙人通信 217 八重山(530m)・能岳(543m)

八重山・能岳は、上野原町の北側・生藤山の西側に位置する低山であるも、上野原町が町を上げて観光資源として管理している山である。

上野原中学校の道路を挟んで山側に設けられた駐車場に車を置き、八重山→能岳→虎丸山を經由して駐車場へ戻るコースとした。

10 台程止める事ができる駐車場は、中学生を登校の為に乗せてくる車の回転場としているも、トイレや洗面所も完備され、町が観光に努力されているのが覗える。

コースは、この駐車場の山際からのスタートだ。檜林の中に設けられた登山道は幅 1.5m 程であり、標識等もよく整備されている。フタリシズカやハナイカダが季節を教えてくれる。沢には 1m 程の鉄管で作られた橋が架けられており歩き易い。15 分程歩くと沢コースにロープが張られ通行止めで左手の尾根に向かうコースだ。10 分程でベンチの置かれたポイントであるが、若葉に覆われ視界は利かない。更に 10 分程で直登コースと東側にある尾根を登るコースの分岐で、八重山の展望台を廻る尾根コースとした。この展望台は、2つの桜花を模った物で、丹沢山塊の石老山から道志山塊そして権現山までが一望できるも、富士山は雲の中だ。この地帯は五感の森と呼ばれており、直ぐ上には鐘が吊るされた塔だ。叩いてみると見事に響いてくれた。更に 5 分程で最初のピークで、ここには黒光りがした石碑だ。石碑に抛れば昭和 4 年に水越八重さんがこの地を小学校に寄付したとあり、詩も書かれていた。この山名は八重さんに由るともある。10 分程で四阿やベンチがある八重山の山頂だ。5 分程下ると石仏が 1 体佇む分岐点だ。虎ロープの張られた階段を 5 分程で能岳山頂だ。向風集落・聖武連山と書かれた標識に従い 5 分程で虎丸山との分岐である。比較的なだらかなコースで右下にゴルフ場を見ながら小さなピークを 3 個進んだ所まで行き、リターンして 15 分程掛けて虎丸山分岐まで戻った後、能岳の山腹を捲く虎丸コースである。10 分程で、能岳と八重山の分岐から来たコースと合流して山風呂方面に進み 15 分程進んだ先にある虎丸山を示す標識に従い、小さなピークを過ぎ 13 分で虎丸山山頂だ。ここには虎丸神社が祀られ、小さな山頂を示す標識が梢に付けられていた。小さなピークを二つ越え、駐車場へ戻った五感を養えた 3 時間弱(1200 歩)の山旅となりました。 (R3.6. 1)

五感の森の鐘

歌碑

八重山

能岳

虎丸神社



展望台から

